

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週火曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「大きさ」を通して考えることの発達を促す あそびの中で同じ種類の物の大きさ大小、高低、長短、などの比較をすることで考える力を養っていきます。 大きさの違うくまのぬいぐるみの服を選ぶことで、「大きい」「小さい」「ぴったり」を体感できるようにする。地域の服屋へくまと一緒に出掛け、くまに合った服を探す。また自分と服から「大小」「ぴったり」を感じてあそぶ。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	体調管理に気を付けて過ごせるようにする 残暑の厳しさや幼稚園等の行事の取り組みの負担も考慮し、無理のない利用を促す。 身の回りのことを自分でしようとする 登園後の手洗い、荷物をロッカーに入れる、片付け、排泄の手順などわかり、見通しをもって行動できるように視覚支援、スケジュールを用意する。 ・おちゃをのむ・汗をふく・帽子をかぶる・固形石鹸で手を洗う ・おやつは Tongue を使い自分で取って、トレイにのせて机まで運ぶ。
	運動・感覚	あそびや片付けをしながら、大小があることに気付く お皿やカップなど重ねて片付けるときに、「大きい」「小さい」「同じくらい大きい」「同じくらい小さい」など、身近にある物の“おおきさ”に触れ大小に気付く。 十分に体を動かしてあそぶことを楽しむ トランポリン（ジャンプン）、フープ（くぐる、跳ぶ）、鉄棒（ぶら下がる）、マット（転がる） 台車（引っ張る） 10秒ポーズ・ふらみんご（片足だち）・キリン（つま先立ち）・カメ（腹臥位で足を手で持つ） ・カニなど
	認知・行動	大きさで分類を知る ・マトリョーシカ、入れ子状のタワー、大きさの違う風船など、色々な物を比較する。 ワークシステム、机上課題に取り組む ・プリントを使い、大きさの違いがあることに目で見て分類をする。 ・課題をしたら片付け、次の課題を自分で取って行うなど一連の課題の取り組み手順がわかるようにする。
	言語 コミュニケーション	大きさの違いを言葉で話す ・ごっこあそびの中で、くまさん（小）くまさん（大）に合う大きなベストがないことに気付き、ちょうど良いベストを買いに行く。それぞれ違う靴型を合わせたりなど、あそびを通して比較していき大きさの違いに気付けるようにしていく。 ・あそびの中で、同じ種類の大小に気付き、言葉にして表現していく。
	人間関係 社会性	いろんな友だちと触れ合いあそぶ （はないちもんめ、だるまさんがころんだ、ハンカチ落とし）など）友だちや担任と一緒に楽しむ。 友だちと一緒に簡単なルールを守ってあそぶ楽しさを知る （だるまさんがころんだ、ハンカチ落としなど）
歌・絵本など		絵本「ねずみくんのチョッキ」「ふたりいっしょだね　ちいくまくん」「どうぶつのおやこ」 わらべうた「おちゃをのみにきてください」
地域支援・地域連携 （地域交流・園外活動）		地域の服屋へ買い物
移行支援		通園している保育園との連携、情報共有を行う
家族支援		モニタリング　個別支援計画
職員の質の向上		・大阪府サービス管理責任者等基礎研修 ・PECSワークショップ研修 ・相談支援従事者初任者研修 ・エルム大阪「豊かなこどばを育むために」
主な行事等		地震訓練　10月21日